

おたり なまね



小谷村役場観光地域振興課集落支援係
〒399-9494
長野県北安曇郡小谷村大字中小谷丙 131番地
Tel 0261-82-2589 Fax 0261-82-2232
Mail iju@vill.otari.lg.jp

—小谷村移住なび—おたりで暮らす
<http://otarigurashi.com/>

目の前に広がる大自然

山では虫を捕まえ、木に登り

冬はみんなで雪合戦

いっぱい遊んでおつきくなあれ

雄大で美しい3,000m級の北アルプスの麓に広がる小谷村は、山深い大自然に囲まれた、人口3,000人ほどの小さな村です。
そんな小谷村には、都会の暮らしで忘れてしまいがちな人のぬくもりや地域の絆が今も色濃く残っています。
道を歩けば地域のおじちゃんやおばちゃんが声をかけてくれ、地域とつながり見守られながら子育てをすることができます。
また、まわりを見渡せば山や小川、冬には真っ白な雪など、子どもたちをわくわくさせる遊びのフィールドがたくさん。
二度と戻ることはない子どもとの時間を、そんな自然いっぱいの環境の中で過ごしませんか。まずは、そんな小谷村の子育てをぜひのぞいてみてください。



松本村長(以下 村長) 今日日は、子育てをしてお母さんに集まってもらいました。まずは、小谷村で子育てしてよかったなと感じること、逆に困ったなと感じることを聞かせてください。

濱谷恭子さん(以下 濱谷) クラスが少人数なので親同士がすごく仲良く、子どもだけじゃ解決できないことも、親同士で話して解決できることもあるので、そこは子育てがしやすいと感じますね。大変なことは、高校への送り迎えですね。今日も部活にいくために朝5時半に送っていったんですが、冬場は除雪もあるので特に大変です。

目時由美子さん(以下 目時) 小谷村は自然が多いので、空気が綺麗でそれは子どもにとってすごくいいなと思っています。

前田聡子さん(以下 前田) いいところは、いっぱいあるんですが、集落のおじいちゃんおばあちゃんや近所の子どもとか、毎日外に出れば誰かと会えて遊んだりお茶したり、人との関係がすごく近くて、みんなにも一緒に育ててもらっている感じがして、子どもにとってもすごくいい環境だなあと感じていますね。

村長 小谷村は子育てに関する補助制度がいろいろあるんだけど、他にこんな制度があったらいいんじゃないかと思うものはある？

松澤彩子さん(以下 松澤) 生まれてからもそうですけど、私は妊娠中も不安があったので、助産師さんが村の中に入れてくれたらいいなと思います。

濱谷 高校生になって定期代がすごく高くて、その辺の補助があるとありがたいかなと。中学生までは村営バスやスクールバスがあって近隣市町村の話も聞いていて小谷村は恵まれているなと思うので。

目時 それは思いますね。遠くの高校へ通うとなると子ども自身もそうですけど、親にとっても時間とお金の負担がすごいですよね。

村長 そうだね。小谷村は高校に行くとなると、近くの白馬高校に通うとしても電車で通わなければいけないので、その部分は負担なのかなとは思っています。

前田 私は、今は子どもが小さくしてお金もそんなにかかっていないので、お金の面で補助といってもピンとはこないんですが、今は、自分が働きたい時に子どもがいて働けないということが結構あるので、預けたい時にばつと預けられるという仕組みがあればいいなと思います。

村長 なるほどね。皆さんのお子さんいろいろな習い事をしていてと思うんだけど、習い事は充実しているのかな？

濱谷 白馬村まで考えればいろんな選択肢はあるかな。ただ、白馬村までいってなると送迎が大変だなと思うので、今は村内に英語の家庭教師がありまして他の教科の家庭教師もあると小谷村には合うのかなと思いますね。

目時 送り迎えは確かに大変ですね。村内だとスイミングは送迎があるのでありがたいですね。あとは受験を考えると理数系の塾があるのかな。

村長 なるほどね。理科とか数学とかについては、希望者に対して高いお金をかけずに勉強できる機会を作っていくように、今、教育委員会でも検討を進

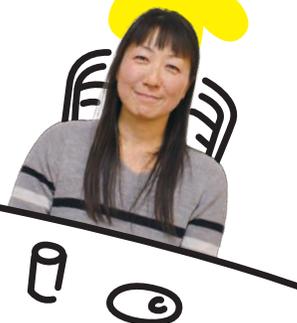


OTARI'S mama TALKING

子育て真っ只中の
お母さんたちにお集まりいただき、
小谷村の教育事情から
子育てに関するお金のことまで、
小谷村での子育てについて
ざっくばらんにお話してもらいました。

濱谷恭子さん

1999年に結婚を機に横浜市から小谷村へ移住。現在、15歳の娘と12歳の息子の子育てに奮闘中。



目時由美子さん

小谷村生まれ小谷村育ち。現在、15歳、11歳の息子と8歳の娘の3人の子どもの子育てに奮闘中。



松本久志 村長

平成23年4月から小谷村の第7代村長を務め、現在2期目となる。



松澤彩子さん

2008年に小谷屋根の3代目冊典さんとの結婚を機に松本市から小谷村へ移住。現在は、8歳の娘と5歳、1歳5ヶ月の息子の子育て真っ只中。



前田聡子さん

2005年にOBS(日本アウトワード・バンド協会)への就職をきっかけに札幌市から移住。そこでご主人と知り合い、大網集落の暮らしを気に入り定住。現在1歳5ヶ月の息子の子育て中。



めているからね。
皆さん 是非！
すぐにでも欲しいです。

松澤 我が家の子は、バスとか自分で行ける範囲の習い事をやっていままね。ただ、周りのお母さんに聞くまで知らなかった習い事もあるの



にしてみらると助かるかなと思いますね。

村長 そうか、横のつながりがないとわからないことがあるのかもしれないよね。これから小谷村が皆さんの時代になっていくと思うんだけど、小谷村がこういう風になってくれたらいいかなと希望はある？

濱谷 今、小谷村は新たに色んな取り組みをやっていると思うので、このまま色んなことにチャレンジして、少しでも活気のある村になって仕事を作ってもらえたらなと思っています。

目時 そうですね。子どもたちは、一度は進学とかで外に出てしまってもいいんですけど、将来こっちで暮らしたいと思った時に帰って来られる村がいいなと思います。それにはやっぱり働く場所があって、住む場所も必要かなと思いますね。

松澤 私の住んでいる集落は世代交流がうまくいって、色んな会をやってもおじいちゃんたちが他の家の孫を面倒みてくれたりとか、どのお母さんたちも子守をしてくれたりとか、仲良くやらせてもらっているの、そういうところを大切にしていきたいなと思っています。

前田 私の住んでいる大網集落は、住んでいる人の3分の1が移住者なんですけど、将来的に移住者ばかりの集落になってしまうと、例えば山や建物の権利は住んでいない息子さんたちが持つことになるので、手入りが行き届かなくなってしまうのではと不安がありますね。特に、私たちは山の資源を活用して仕事をつくっていききたいと考えているけど、勝手に入るわけにもいかないし、そういったところで本人同士ではなかなか話しづらいところもあるので、村で何か規定みたいなものを作ってくれようという感じですね。

村長 たしかにそういう問題はこれからも出てくるかもしれないね。じゃあ、最後に村長にこれは言うておきたいというものはある？

松澤 ローソンにおむつを置いてほしいです！

村長 なるほど。じゃあ、それは村として要望してみらね。他には？

目時 白馬高校が理数系の授業数が少なくて、受験のときに大変なので、受験をしたい人にも通いやすい学校にしてくれたらいいなと思いますね。

村長 白馬高校については、その辺も含めてこれからも小谷村でも支援をしていかなければいけないと思っている。2016年から国際観光科が始まったわけだけど、目標としては、東京六大学くらいは狙えるようにしていきたいね。

前田 せっかく長野県が「信州やまはく」を推進しているの、小谷保育園も、もっと自然の中でのような活動ができるといいなと思いますね。あと、保育園に通う前の子どもを持つお母さんたちが気軽に交流できる場所が増えるといいなと思いますね。

村長 なるほどね。これからもそういった意見があればぜひ声を大にして言ってもらいたい。全部が全部できるかはわからないけどやる努力はするからね。

田辺さん ファミリー

田辺 寛倫さん(36) / 新潟県出身 / ホテル(スキー場)勤務
 沙弥香さん(39) / 大阪府出身 / 集落支援員
 爽太くん(10)



野沢菜を干して保存する方法は地域の
お母さんから教えてもらいました。

日当たりのいいカウンターキッチンからは
コーヒーのいい香りがします。

集落全体がファミリーみたい!

山やスキーが好きで小谷村に通っていた寛倫さんと、以前から田舎暮らしに興味があった沙弥香さん。そんな二人が結婚をきっかけに小谷村に移住したのは2006年。
 初めて小谷村に来た日のことを「車窓から見える古民家や山々を見て、まるで昔話の世界にきたようでした」と振り返る沙弥香さん。それから10年以上が過ぎ、現在寛倫さんはホテルで主にスキー場の仕事を、沙弥香さんは集落支援員として地域のサポートをしています。
 田辺さんの住む集落は人々のつながりがとても強く、子どもに言えば誰もが自然と声をかけてくれる環境。「地域で子どもを育て、見守ってくれているので親も安心。集落全体がファミリーみたい。小谷だからこその子育てじゃないかな」と話してくれました。

突撃インタビュー

- 小谷で子育てしてよかったことは?
 どんなに騒いでも近所に怒られない。地域の方が子どもを大切にしてくれること。遊びのフィールドが近いこと。
- 小谷村でビックリしたことは?
 おすそ分けの気前の良さ。
- 小谷村のおすすめスポットは?
 鎌池、雨飾山、カフェ十三月、眺望の里。
- 改善してほしいことは?
 24時間営業のガソリンスタンドや大型スーパーが欲しい。

バービックさん ファミリー

バービック マイクさん(39) / アメリカ出身 / ホテル勤務
 千亜紀さん(39) / 長野県出身 / 主婦
 魁くん(8)・莉亜ちゃん(5)・壘壘くん(2)



家の四方が山に囲まれています。

手づくりのストーブはレストランなどから廃油を回収して自宅でも過し、再利用しています。

小谷村で自分の生活を自分の手で作りたい!

「やっと自分の場所を見つけた。ずっと小谷村に住みたい!」と話してくれたアメリカのシカゴ出身のマイクさん。郊外で牧場を営む祖母の生活に影響を受け、「自給自足で環境にやさしい生活」を求め、世界の様々な国を訪れたそう。そして山々の美しさや静かな環境に惹かれ10年前、小谷村に土地を購入。「自分の生活を自分の手で作りたい」と一から家づくりを始めました。異国での家づくりは困難の連続。「でも辛いことが頑張る力になる」と常に逆境をパワーに変えてきたお二人。子育てについても「みんなが子どもを気にかけてくれてとても親切」と話します。現在も自宅は建築途中ですが「将来は人が集まれるスペースも作りたいな」と話す千亜紀さん。お二人の夢が形になる日が楽しみです。

突撃インタビュー

- 小谷村で子育てしてよかったことは?
 学校が少人数で先生がしっかり見てくれる。地域の人との距離が近くて親切。子育て制度の手厚さ(出産祝い金など)。
- 小谷村でビックリしたことは?
 祭りにかける小谷の人々の熱さ!
- これから移住する方にアドバイス
 漠然と「田舎暮らしをしたい」だけでは生活は厳しい。やりたいことや目標をきちんと持って移住することが大切。
- 心配したことは?
 雪の多さ。地域の人に受け入れてもらえるかどうか。

河合さん ファミリー

河合 宗寛さん(35) / 愛知県出身 / 自営業: 山岳ガイド
 芽生さん(34) / 石川県出身 / 主婦
 仁くん(4)・睦生くん(2)



冬になると家の周りにはたくさんの雪が!
子どもたちの格好の遊び場です!

家が傷まないように屋根雪も定期的におろします。

学校だけでなくアウトドアにも教育の場がある

もともとアウトドア好きで教員を目指していた宗寛さんは、大学卒業後「学校だけでなくアウトドアにも教育の場がある」と小谷村の大網地区にある冒険を通じた人間教育を行うOBJ(日本アウトワード・バウンド協会)に勤務。その後2年間海外で体育教育の振興に従事し、OBJで出会った芽生さんと結婚。現在は山岳ガイドと体験学習事業を行う「Wilderness Facilitation」を立ち上げ積極的に活動しています。
 「雪の時期には玄関からスキーを履いてそのまま山まで滑っていけるんですよ!」と雪深い大網の冬の日常を楽しそうに話してくれたお二人。そんな大自然の中でのびのびと子どもを育てられる環境、温かく見守ってくれる地域の方々に感謝しながら小谷村での暮らしを楽しんでいます。

突撃インタビュー

- 小谷村で子育てしてよかったことは?
 地域の方が子どもを優しく見守ってくれること。子どもの泣き声に遠慮する必要がなく、親も子どものびのびと、子どもが子どもらしくいられる環境があること。
- 小谷村でビックリしたことは?
 お年寄りがとにかく元気なこと!
 大糸線(南小谷~糸魚川)がディーゼルで走っていること。
- 小谷村の自慢は?
 大自然と人の温かさ!
- 改善してほしいことは?
 他の地域との交流の機会や場所を作ってほしい。

私たち、
 小谷村に
 移住してきました!

小谷村との出会いから
 実際の暮らしまで。
 住んでいるからこそ分かる
 『リアルな小谷村ライフ』を
 3組の先輩移住者の皆様に伺いました。





放課後の児童クラブが小学校に併設されているのも、保護者にはうれしいポイント。学童保育は月2,000円でおやつ付き。季節によってクリスマス会や夏祭りなどのイベントもっており、親にとっても子どもにとっても安心できる場所となっています。

共働きでも安心!
放課後
児童クラブ

のびのび!
開放的な校舎



平成19年に新築された校舎は、木のぬくもりが溢れる開放的な空間。各学年の教室やクワイエットルーム・デンなどが設けられた2階は、教室ごとの仕切りを減らしたオープンな造りに。天井も高くトップライトから柔らかな光が入るので、子どもたちがのびのびと過ごせる場所です。

小谷小学校

地域に触れる
小谷っ子タイム



1年生から6年生が縦割りで作班を作り、卒業までの6年間で『しめ縄づくり』や『伝統食づくり』などの地域の歴史文化を学んだり、『シャワークライミング』や『マレットゴルフ』などのスポーツを体験したりと、それぞれの探検隊に分かれて地域について学んでいます。

樹里ちゃん
1年生から6年生までみんな仲がいいところが好き

葉太くん
小学校のことが好き!
体育の授業でノルディックができること!

国際色豊かな教育



小谷中学校の掃除の時間はちょっとユニーク。自問清掃といって、掃除の時間を『場所を綺麗にする時間』としてではなく、『自分の心を磨く時間』と考え、自らに問いながら、ねばり強さや創造性、感謝の心といった道徳性を高めていく時間としています。

自問活動で
心の成長



地域を学ぶ!
小谷学

地域のことを学ぶ総合学習授業『小谷学』では、小谷村の魅力を発信するにはどうしたらよいのか? や小谷村の福祉や子育ての環境はどうか?などをグループごとにテーマを設け研究。課題解決に向けて自らでアプローチを考えて取り組みます。



小谷中学校

国際感覚豊かな人材の育成を目指し、2016年度から台湾の中学生との交流学習を開始。中学2年生は、全生徒が台湾を訪問し現地の中学生と交流を行っています。

中学校のことが好き!
裕香さん
クラス替えがないので、3年間みんな仲良く過ごせます。先生方もおもしろい先生ばかりで授業も楽しいです!



教育施設ガイド



地域みんなが先生

地域のおじいちゃんやおばあちゃんが講師となり、小谷村の伝統食や伝統工芸を学びます。自分たちが生まれ育つ小谷村の伝統や環境をよく知るとともに、人と人とのつながりの大切さを学んでいます。



自然の中でたくましく

大自然に囲まれた小谷村は、園庭以外にも山や森、林など自然豊かなフィールドがたくさん。そんな自然の中で活動することで子どもたちは新しい発見や驚きを得て多くの刺激を受けることができます。



小谷村保育園

1日のスケジュール

- 7:40 登園
- 8:00 自由活動
- 10:00 中心活動
- 11:15 昼食
- 12:15 お昼寝
- 14:40 おやつ
- 15:30 降園
- 18:30 延長保育

できたを
いただきます!
安心の給食



給食は園内で作られた温かい食事を提供(ごはんは持参)。さらに毎月19日の「食育の日」には、季節にちなんだ献立や地元の郷土食などが提供され「食」を通じて地域への理解を深め、自然の恵みの大切さについて学んでいます。



この日の献立
(冬至献立)

おたりのおこわ / まぐろとさつまいもの揚げ煮
キャベツの昆布浅漬け / ちくわのすまし汁
おやつ / 冬至かぼちゃ団子 / 牛乳

保育園のことが好き!
さくらちゃん
毎日楽しいことがいっぱいではないけど、今は裏山でのそり遊びが一番楽しいよ

子育て支援センター Q & A

- Q 何歳から利用することができますか?
- A 6ヶ月から就園前までのおさんが利用可能です。
- Q いつ利用できますか? 利用方法は?
- A 月・水・木曜の9:00~12:00、13:00~15:00まで利用可能。なお月・木曜は保育士の先生がついて簡単な遊びを行い、水曜は自由利用となります。
- Q 子どもだけ預けることはできますか?
- A 親子でご利用いただくようお願いします。



補助金制度のご案内

出産や子育てなど、小谷暮らしをサポートするさまざまな補助金制度をご紹介します。



出産祝金

出生児の健やかな成長を願い、第1子10万円、第2子20万円、第3子以降30万円の出産祝金が支給されます。

保育料引き下げ

第2子は半額、第3子は保育料が無料となります。さらに6時半までの延長保育の保育料も無料に！（共働き世帯に限る）

通園・通学バス無料

村内全域で運行する通園通学バスは無料で利用可能。また、自家用車等を利用して通園する児童の保護者に対しては費用の一部が補助されます。

※各補助金の詳細および他の補助金については各担当係へお問い合わせください。

移住したいな
と思ったら

移住の流れガイド

移住に関する情報をチェック

小谷村では、移住専用HP『小谷村移住ナビ おたりに暮らす』を通して、移住に関する情報を発信しています。住まいや仕事の情報ははじめ、小谷村に移住した方の声や体験イベントのご案内をしています。

小谷村移住ナビ おたりに暮らす

検索

otarigurashi.com

お気軽にご相談ください！

まずは移住相談窓口へご相談ください。それぞれのご希望に合わせて移住までの道のりをサポートします。

お問い合わせ先：小谷村役場移住相談窓口

電話 0261-82-2589 メール iju@vill.otari.nagano.jp

小谷村の暮らしを知ろう

小谷村がどんなところなのか、小谷村でどんな暮らしができるのか。まずは小谷村を訪れて暮らしを体験してみてください。小谷村では暮らしを体験していただける体験イベントや移住おためし住宅をご用意しています。

●移住体験ツアー

春夏秋冬と小谷村の暮らしを体験できるイベント『おたり暮らしのカタチ』や毎回、子育てや雪国の暮らしなどをテーマごとに案内する『魅力体験ツアー』を実施しています。まずは、体験ツアーに参加して小谷村の暮らしをご体験ください。

●おためし住宅

より小谷村の暮らしを深く知りたい！そんな方には、移住おためし住宅がおすすめです。1泊2日の短期から長期の利用も可能ですので、集落を散策したり集落行事に参加したりと小谷村の暮らしをそのまま体験することができます。また、空き家探しや仕事探しの拠点としての利用も可能です。



小谷村の習いごと

小谷村は小さな村ですが、実はたくさんの習いごとがあるんです。定番のピアノや習字から、ちょっと珍しい太鼓やスキーなど…そんな数ある習いごとの中から厳選していくつかをご紹介します！

Pick up! 英語学習

近年の外国人観光客の増加に伴い、小谷村でも幼少期からの英語学習に力をいれています。指導は経験豊富な日本人講師と外国人講師。英語学習の用途や目的に応じて自分にあった学習方法をお選びいただけます。

公営おたり塾

小谷村が主催で、講師が保育園・小学校・中学校を訪れ、さまざまなアクティビティを通して、楽しく英語にふれあう機会を提供しています。



◎金額：小学生1,000円/学期 中学生2,000円/月
◎対象：保育園年少～中学生（保育園はカリキュラムに組入れ、小中は希望者のみ）
◎時間：保育園児…30分 小中学生…1時間（どちらも月30回）

おたり英語学校

基礎を徹底的に固めて話せるようになるための土台を作ります。高校・大学や資格試験対策にも対応しています。



◎対象：小学生～高校生
◎時間：週1回×1時間

※「自分のペースでもっと集中して学習したい！」という方には、講師がご指定の場所に伺う家庭教師もご用意。個別に学習ができるので着実に英語力を伸ばすことができます。

信州小谷太鼓

平成30年で20周年を迎える信州小谷太鼓。普段は村内のお祭りや村外での演奏会に出演し、その息の合った力強い演奏は見る人を圧倒します。



◎対象：小学生～大人
◎時間：週1回×約1時間

スイミング

村内のトレーニング施設内のプールで行います。温水プールで冬でも快適です！



〔ドルフィン〕
◎対象：保育園年少～年長
◎時間：週1回×1時間（5～10月）
◎金額：年会費15,000円

〔アクアスポーツ少年団〕

◎対象：小学1年生～高校3年生
◎時間：週1回×1時間（5～11月）
◎金額：年会費18,000円 ※年会費は年度によって異なることもあり

スキー教室

ウィンタースポーツの盛んな小谷村ならではの。村内のスキー場でみんなで楽しくスキーを学びます。



〔梅池ちびっ子スキースクール〕
◎対象：保育園年少～小学6年生
◎時間：冬の間の土日祝×1時間
◎金額：年会費12,000円

〔白馬乗鞍ちびっ子スキークラブ〕
◎対象：保育園年中～小学6年生
◎時間：週1回×2時間
◎金額：年会費10,000円

〔おたりジュニアスキークラブ〕

選手育成のスキークラブは3つの競技から選べます。オリンピック選手も輩出している実力のあるクラブです。

◆クロスカンтриー ◎対象：小学3年生～中学3年生
◆アルペンスキー ◎対象：小学1年生～中学3年生
◆ジャンプ ◎対象：小学3年生～中学3年生
◎金額：年会費10,000円（別途、大会参加費や保護者会費、遠征費等がかかります）
◎時間：小学生/土日と水曜の夜 中学生/練習日程は大会による